

# ニューノーマルな暮らし方。

こおりやま広域圏内に移住した方に、この地域の魅力や生活について伺いました。

## 日本の伝統美を最大限に引き出して一生の思い出も。

本宮市在住 伊藤順子さん



古民家スタジオ KAMIMACHI 運営  
職 古民家スタジオ KAMIMACHI 運営  
身 福島県本宮市(直近は東京都)  
出 裁縫・手芸  
趣



01



古民家スタジオ「KAMIMACHI」  
HP Instagram  
QRコード

まるでタイムスリップしたような、でもどこか新しい雰囲気が広がる写真館が本宮市にあります。「これまで仙台、東京、静岡、兵庫で培ったウエディングプランナーとしての知識・経験を活かして、地元である本宮市で今まで福島になかった、悩める花嫁の拠りどころをつくりたいと思いました。」伊藤さんは、生まれ故郷である本宮市で自分自身が本当に「撮りたい」と思える写真館を実現するために平成29年12月に古民家スタジオ「KAMIMACHI」をオープン。

「最近の洋風な建物だけが目立ってしまう和装花嫁写真にいつも違和感を感じていました。美しい花嫁写真を残すためには何が必要なのか。そんなときにふと古民家の存在に気がきました。」日本の伝統的な美しさを持つ古民家と着物。結婚という人生の大切な一歩を日本らしい美しさを最大限に引き出して一生の宝物にする時間。

「撮影や結婚式に不安を抱えた花嫁や新成人が、準備を重ねる中で、どんどん輝いていき、本番で放つオーラや喜びを共有できることが、最高の幸せです。」

本宮市にUターンした時には「東京とは違い、人との距離が近く、応援してくれる人がとても身近にいる」と感じたそうです。

これから移住を考えている方へ「本宮市は自然豊かで心のゆとりを持つことができ、仕事もプライベートも、より一層充実させることができます。ぜひ、本宮市の広い空を見てください。」

花嫁・成人の人生の大切な1ページを伊藤さんとともに創りあげてみてはいかがでしょうか？

## お米の美味しさに惚れて異業種に飛び込む！

郡山市在住 國分洋平さん



職 農家、造園業  
身 神奈川県横浜市(直近は兵庫県)  
出 自転車(フリーライド)、お酒(ラム酒ほか)  
趣

「妻の実家が農業をしていたため、郡山産のお米を食べる機会がありました。それが本宮に美味しくて、転職活動をしている中で、自営業という道も考えるようになりました。」

大学卒業後、自転車関連の会社に就職。車体の企画などにも携わりながら、自転車販売店へ営業販売していました。

「前職で全国を回っていたので、移住することに不安はありませんでした。ただ移住する前には都内のふるさと回帰支援センターに相談したりして移住後のビジョンはできるだけ明確にしていきました。」

結婚と移住を機に米づくりの世界に飛び込んだ國分さん。

「農業を始めるにあたり、矢吹町の農業短期大学に通いながら1年目をスタート。それでも最初は、知識不足や言葉の壁を感じました。さらに農業は人間関係が大切だと感じるようになり、礼儀や挨拶は欠かせないよう心がけるようになりました。」

その背景にはある過去の出来事の影響があるとのこと。

「3年前に田んぼの稲を枯らしかけたことがありました。米づくりには気候や水路の知識も重要なのですが、それは農業に関わる方との交流の中でしか得られない事だと、痛切に感じました。」

それでも米づくりに大きな魅力を感じている國分さん。



郡山市



「最近子供が生まれたことで、自分たちが作っているものが子供たちの口に入ることで、成長に直結していることに、強い責任感とやりがいを感じています。」

今後について「米づくりは毎年、そして田んぼごとに個性があり気を抜けません。一方で、自転車業界に関わっていた経験から、自治体などから、まちづくりに活かしたいと声をかけられる機会が増えてきました。」「本業の農家を中心としながら、自分らしい生き方を実現していきたいと思えます！」という國分さん。

國分さんからは柔らかな雰囲気の中に、強い意志を感じました。

## 100%地元産！アイスが繋ぐ笑顔の輪

大玉村在住 千葉清美さん



あだたらのち株式会社 代表取締役  
職 神奈川県横浜市  
身 フラワーアレンジメント  
出  
趣

02



「16年前に大玉村へ移住しました。」「県外に住むのは初めてで、親戚や知り合いもなくとても不安でした。でもまわりの人はとてもウエルカムな感じで、空気、水、食べ物美味しく、人が温かいことに感動し、永住を決めました。」

そんな中、東日本震災をきっかけに酪農をやめる人や耕作放棄地が増え、千葉さんは美しい田園風景を未来に残したいという思いを強めていきました。

「7年前に、ソフトクリーム製造販売の会社を立ち上げました。大好きなソフトクリームを作ることで若い人にも酪農に興味を持ってほしいと考えたのがきっかけです。」

大玉村産100%の生乳を使用した無添加のソフトクリーム「きよミルク」はこどもからお年寄りまで誰にでも優しく、多くの人を惹きつけています。

2021年1月には第6回ふくしま産産賞特別賞を受賞。

「会社はほとんど1人でやっているため、正直言って大変なことが多くありますが喜んでくれるお客様の顔を見るのがやりがいとなっています。」

最後に移住を検討している方に一言「福島県には宝物がたくさんあります。そして、可能性もたくさんあります。人が温かく、食べ物が美味しくて、とても住みやすいところです。まずは来てみて、その魅力を体感してください！」

あだたらのち株式会社

二本松市内の工場  
対面販売を行っています。  
住所/二本松市西町2-1  
営業/土日のみ10:00~17:00

## 福島で体に優しい安全な食べ物もみんなに。

二本松市在住 大原陽子さん



料理人 東京都国立市  
職 読書  
身  
出  
趣



大原さんはもともと、東京でオーガニックレストランを経営していました。

その後、二本松市東和地域で地域おこし協力隊として活動するために移住。

「東京では停電の経験もほとんどなく過ごしていて、電力の供給元である福島の方に申し訳ないと思いつつ、復興の一助になれば」との思いから移住を決意されたそうです。

二本松市の魅力について「私の住んでいる東和地域には東京では味わうことのできない自然がたくさんあります。自然の中では何かしら発見があり、毎日が新鮮」と感じているそうです。

そしてもうひとつ、移住して特に印象深かったこととして福島の言葉が「かわいい!!」と感じたという大原さん。

「標準語にするとなんだか味気なくなってしまう言葉たちが、福島の言葉を通してどこかわいく感じます。」と語ってくれました。

移住を検討している方へのアドバイスとして「まずは来てみる。それだけではわからないことがあるので地元の人との交流も大事」と感じています。

地域おこし協力隊員だった大原さんは、ここの東和地域で生涯のパートナーに出会いました。自宅の蔵を野菜やリンゴの加工施設に改装中。5月ごろには稼働の予定です。

また、地元の若いお母さんたちと「手作りみそ」のワークショップ、首都圏の方にはネット配信も展開中とアクティブな大原さん。

「今は、市場には出すことができない農作物等でジャム等の加工品を作り販売しています。自分の手で何かを作るのが好きなので毎日が楽しいです」と笑顔で語ってくれました。

